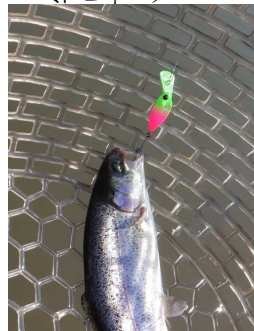
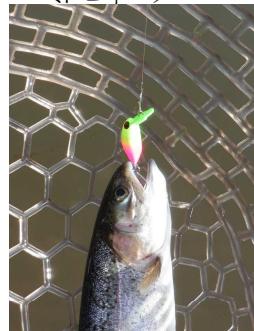
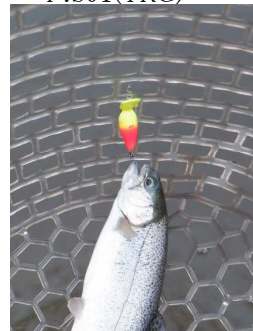
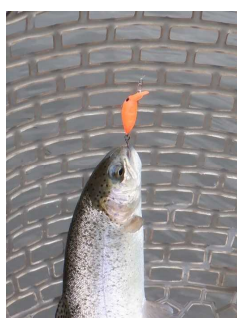
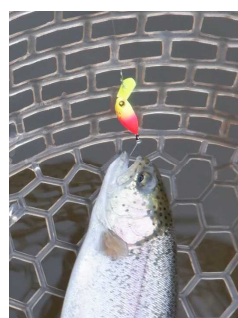
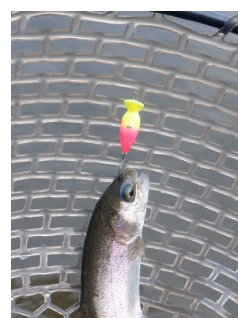
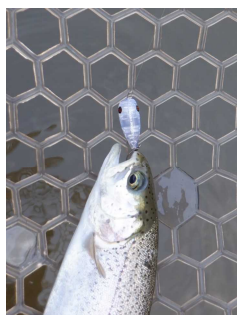
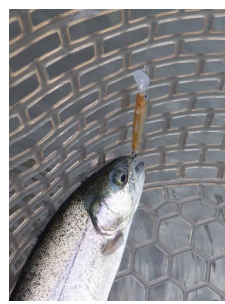


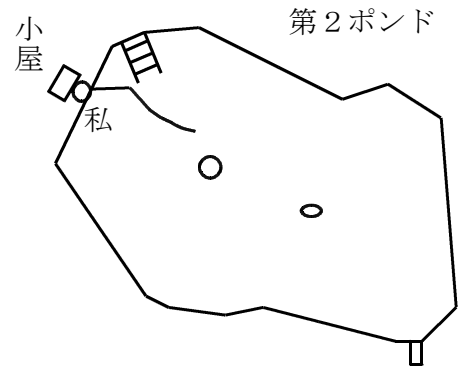
【ヒットルアー】

- ・モカSR(SS) ミドピーノ 3尾
- ・モカSR(SS) オラオラオレンジ 3尾
- ・モカSR(SS) 黄オレンジ 2尾
- ・モカDR(SS) ミドピーノ 1尾
- ・プチモカSR(SS) ミッカビミカン 4尾
- ・プチモカSR(SS) ミドピーノ 3尾
- ・プチモカSR(SS) 桃 2尾
- ・プチモカSR(SS) ミルクココア 2尾
- ・プチモカSR(SS) 黄オレンジ 1尾
- ・プチモカSR(SS) スケスケピンク 1尾

- ・プチモカSR(FⅡ) 黄オレンジ 3尾
- ・モカSR(FⅡ) 黄オレンジ 2尾
- ベッキー 0.6g オリーブブラウン 1尾
- マーシャルトーナメント0.9gブラウン(青ラメ入り) 1尾
- ・ポップンバグ ケイムラ透明 3尾
- ・グリム51HF MJ サンクオリカラ 4尾
- ・スティル イルペレ 3尾
- ・ザッカー50F1 オールブラウン 2尾
- ・ダブルクラッチ45F1 オニヨメRG 1尾

モカSR(SS)
ミドピーノモカDR(SS)
ミドピーノプチモカSR(SS)
ミドピーノモカSR(SS)
F.S01(TRG)プチモカSR(SS)
ミッカビミカンプチモカSR(SS)
桃プチモカSR(FⅡ)
F.S01(TRG)モカSR(FⅡ)
F.S01(TRG)ポップンバグ
ケイムラ透明グリム51HF MJ
サンクオリカラスティル
イルペレザッカー50F1
オールブラウン

【様子】



○料金 半日午後 男性 ¥3,500 2月1日より終了時刻17:00

○火曜日は放流なし。餌撒きなし。/○晴れ、途中、小雨。風なし。水は濁っている。客は極めて少ない。

スタート～午後3時00分

21尾

○12時10分スタート。表層の下(中層か)にマスの姿が見られるが、動きはない。ライズもない。

○モカSR(SS)ミドピーノからスタート。連続ヒット。

○このまま釣っても釣れ続きそうである。こういうときだからこそ、モカDR(SS)ミドピーノを試そうと思った。1尾取ったが、続かない。竿を立ててゆっくり巻いても沈んでいく(潜っていく)。DR(SS)だから、巻けば潜るし、止めれば沈む。ルアーが沖にある時と手前に来た時では、竿を立てていてもラインの入水角度が変わる。竿をたてて一定層を泳がせるのは難しい。モカSR(SS)もプチモカSR(SS)もゆっくり巻けば泳ぎながら沈んで行く。モカDR(SS)はこれらと泳ぎが違う。研究の余地がある。

○モカSR(SS)・プチモカSR(SS)を試す。連続ヒットとなる。プチモカSR(SS)の方が良く当たる。

○ゆっくり巻いていくと、モカSR(SS)ミドピーノが泳ぎながら沈んでいく。色が見えなくなるくらいでヒットする。当たらなければ、竿をチョンチョンとあおり、ルアーを浅いところまで引き上げてから、同様に巻くとヒットするというパターンである。

○少し深いところで当たるなら、プチモカSR(SS)を少し沈めて(カウント7で沈めて)、巻き始めたら、すぐにヒット。連続ヒットとなった。

○このまま続けていけば、さらに釣れ続けることができそうだった。

○こういう時だからこそ、次の一手を試そうと思い、マジックジャークの練習をすることにした。

○“少し潜らせて浮かせる”ことから、“ラインをピンと張って3回巻く。続いて、1～5をはやく数えて、5の時にリールを半周巻くを繰り返す。半周巻きはデジ巻きのように鋭く巻く”を基本に練習した。

○状況により、どこまで潜らせるか(最初に3回巻くか、5回巻くか、もっと巻くか)、浮かせる時間(5まで数えるか、8まで数えるか)、デジ巻きの巻き数(半周巻きか、一周巻きか)を変えるようだ。

○まずは前述の基本を繰り返した。

○竿先がぶれるので、竿先を水中に入れることも試みた。

○マジックジャークで釣果が出ないので、モカ・プチモカを試す。モカ・プチモカなら必ず釣れるといった感じである。

○表層をマスがざわつきだした。スプーンを試すがダメ。

・モカSR(SS)	ミドピーノ	3尾	・プチモカSR(SS) ミドピーノ	3尾
・モカDR(SS)	ミドピーノ	1尾	・プチモカSR(SS) 桃	2尾
・モカSR(SS)	黄オレンジ	1尾	・プチモカSR(SS) 黄オレンジ	1尾
・モカSR(SS)	オラオラオレンジ	1尾	・スティル イルペレ	2尾
・プチモカSR(SS)	ミッカビミカン	4尾	・ダブルクラッチ45F1 オニヨメRG	1尾

・ザッカー50F1 オールブラウン 1尾

・ベッキー 0.6g オリーブブラウン 1尾

午後3時00分～午後3時30分

9尾

○ライズが出てきたのでトップを試した。ポップンバグを選んだ。

○ハンドル半周を素速く巻くというデジ巻きで取った。

○やがて、ライズもなくなっていった。

・ポップンバグ ケイムラ透明 3尾 / ・モカSR(SS) オラオラオレンジ 2尾

・プチモカSR(SS) ミルクココア 2尾 / ・プチモカSR(SS) スケスケピンク 1尾

・マーシャルトーナメント0.9gブラウン(青ラメ入り)1尾

午後3時30分～午後4時00分

0尾

○午後4時に近づき、ルアーの着水とともにマスが集まってくる姿が見られたが、自作ルアー「マメしずくBB薄茶」では釣れなかった。

午後4時00分～午後5時00分(終了)

12尾

○表層すぐ下をマスが泳いでいる姿が見える。こんな時は、プチモカSR(FⅡ) 黄・オレンジの出番である。連続ヒットとなった。モカSR(FⅡ) 黄・オレンジでも試した。これでも釣れた。しかし、プチモカの方が釣りやすかった。モカは、プチモカと同じスピードで引いてくると、浮いてくる。プチモカの方がゆっくり引ける。

○まだまだ釣れる気がしたが、こういう時だからこそ、マジックジャークの練習をすることにした。

○マジックジャークで連続ヒットとなった。

○終了時刻に近づき、最後にもう一尾釣りたいと思い、モカSR(SS) 黄・オレンジを投げた。1尾取れた。

・プチモカSR(FⅡ) 黄オレンジ 3尾

・モカSR(FⅡ) 黄オレンジ 2尾

・モカSR(SS) 黄オレンジ 1尾

・グリム51HF MJ サンクオリカラ 4尾

・スティル イルペレ 1尾

・ザッカー50F1 オールブラウン 1尾

【振り返り】

○今日はよく釣れた。約3/4がモカ・プチモカで、約1/4がマジックジャークで釣った。

○同じルアーで釣れ続きそうであったが、あえて止めて、いろいろ試せたことも良かった。

○30分以上釣れないという時間帯はなかった。少し釣れないと感じたら、モカ・プチモカを投げた。必ずと言っていいほど、これで釣れた。

【モカDR(SS)ミドピーノ】

○モカSR(SS)ミドピーノで釣れる状況の中、モカDR(SS)ミドピーノを泳がせた。

○モカDR(SS)ミドピーノが一定層を泳ぐ、または、ゆっくり沈んでいくをイメージしながら試したが釣れなかった。

○DR(SS)は、竿立てでゆっくり巻いても、沈んでいった(潜っていった)。竿を立てたからといって、一定層を泳ぐという訳ではなかった。

○竿を立てていても、ルアーが沖にあるときと手前に来たときでは、ラインの入水角度が変わる。どの角度で一定層を泳ぐのかを見極める必要があるようだ。モカDR(SS)もモカSR(SS)・プチモカSR(SS)もゆっくり巻けば泳ぎながら沈んで行く。モカDR(SS)はリップの状態から、これらと泳ぎや潜り方(沈み方)が違うのであろう。

【モカSR(FⅡ) スローフローティング】

- 水面直下をマスが動いている状態の時には、モカ・プチモカのSR(FⅡ)が有効である。
- プチモカSR(SS)でも釣ることができた。
- 一定層を泳ぐリトリブスピードとしては、
プチモカSR(FⅡ)が一番遅くても泳ぐ。
モカSR(FⅡ)はプチモカより速く巻かないと浮いてくる。
プチモカSR(SS)は、ゆっくりゆっくりの巻きスピードでは沈んで行くことから、一定層を泳がせるには、それより速く巻く必要があり、それはプチモカSR(FⅡ)の巻きより速い。
プチモカSR(SS)とモカSR(FⅡ)では、どちらが遅いかは不明である。
- 水面直下より少し深い所で、プチモカSR(FⅡ)やモカSR(FⅡ)を試してみたい。

【マジックジャーク】

- “少し潜らせて浮かせる”ことから、次のようにした。
- ラインをピンと張ってから3回巻いて潜らせる。このとき、竿先は下を向いているか、水中にある。続いて、“1～5をはやく数えて、5の時にリールを半周巻く”を繰り返す。半周巻きはデジ巻きのように鋭く巻く。
- 状況により、どこまで潜らせるか(最初に3回巻くか、5回巻くか、もっと巻くか)、浮かせる時間(5まで数えるか、8まで数えるか)、デジ巻きの巻き数(半周巻きか、一周巻きか)を変えるようだ。
- 別の方法も試みた。ラインをピンと張ってから3回巻く。続いて、“竿を上げつつ糸ふけを取る。糸がピンと張ったところで竿先を下げる。結果として、リール一周巻きになっている。1～4で竿を上げつつ糸ふけをとる。5で竿先を下げる。”を繰り返す。

<一回目の釣果>

- ・ダブルクラッチ45F1 オニヨメRG 1尾 / ・ザッカー50F1 オールブラウン 1尾
- マスの姿は表層やや下であった。最初の巻き数は3または5回である。リールをリズムカルに巻けなかった。竿先がぶれて、竿先を水中に入れることもした。
- ザッカーは、「竿を上げつつ糸ふけを取る。糸がピンと張ったところで竿先を下げる。」という方法で釣った。

<二回目の釣果>

- ・グリム51HF MJ サンクオリカラ 4尾
- ・スティル イルペレ 1尾 / ・ザッカー50F1 オールブラウン 1尾
- マスは水面直下で動いている状況であった。最初の巻き数は3とした。
- 最初の巻きで止めたときに当たりがあり、これで1尾取った。
- スティルは浮き上がりが遅い。カウント8で巻いて釣った。
- グリムは浮き上がりが速い。カウント5で巻いて釣った。
- 浮き上がりの速さは、ザッカーはグリムに近く、ダブルクラッチはスティルに近いと感じた。
- ※表層で釣るときは、最初の巻き数は3回巻き。グリムはカウント5で巻き、スティルはカウント8で巻く。デジ巻きの巻き数は半周である。これを基本とする。今後は状況により、ここから変化させる。

【モカSR(SS)・プチモカSR(SS)の使い方】

- モカSR(SS)、プチモカSR(SS)の使い方が分かってきた。
- 「ゆっくりゆっくり」と唱えながら5回巻く。(「ゆっくり」で半周、「ゆっくりゆっくり」で一周巻きとなる。)これで当たらなければ、“竿先をチョンチョンチョンと3回あおり(ルアーを水面近くに上げて)、その後、ゆっくりリトリブを続ける”。
- この巻きスピードでは、モカSR(SS)・プチモカSR(SS)は泳ぎながら沈んでいく。

○次は、一定層を泳ぐ巻きスピードを見つけることだ。

※マジックジャーク、モカ・プチモカSR(FⅡ)、モカDR(SS)、ウッサS、ウッサXS、ちびパニクラDR-SSをもつともっと使うことで、これらの釣り方を理解したい。スプーンも同様である。